

ごみの分け方、出し方、集め方の変更について（案）意見募集結果

1. 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 平成28年2月5日（金）～平成28年3月7日（月）
- (2) 意見提出者数 個人 2人（電子メール1件、窓口提出1件）
- (3) 意見件数 7件

2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

意見書の概要	意見に対する豊橋市の見解
○指定ごみ袋の導入によって、ごみステーションの乱雑化が解決できるとは限らないと思う。	○県内において既に指定ごみ袋制度を導入している自治体では、制度導入によりごみステーションの乱雑化に対して一定の効果が出ているという確認をしています。 本市においても同様の効果が期待できるものと考え、啓発活動を継続して実施していきます。
○生ごみ分別収集の社会実験を実施したのであればその結果と問題点についてお話し頂きたい。	○市として生ごみ分別収集の社会実験を実施していません。
○生ごみの分別収集が週2日新設されるとごみステーションの管理は倍増する。 町内会に衛生委員の負担も倍増すること	○ごみステーションの管理の負担が増えないよう、住民の皆様への分別理解とご協力が大切ですので、啓発や説明に努めて

<p>に対し、市からの財政負担などの有無についても何ら提示がないが、根本的に考えを直して頂きたい。</p>	<p>まいます。</p>
<p>○リサイクルステーションを早急に整備してもらいたい。</p>	<p>○今後の参考意見として承らせていただきます。</p>
<p>○びんカンの持ち去りについて、市は監視や罰則に力を入れるのではなく、逆に奨励することによって市の収集回数が減り、経費の削減につながる。また正業を持たぬ人の収入確保が図れるのではないか。</p>	<p>○びん・カンは資源であり、一般廃棄物でもありますので、市として適正に処理することが責務であります。条例の有無にかかわらず、特定の方に許可することを含め、持去り行為自体を奨励することはできません。</p>
<p>○びん・カンボックスは設置から20数年にわたり大きな問題なく経過しており、既に市民に定着したものであるが、これを変更することでステーションの乱雑化など弊害の方が大きいと思われる。更新経費について長期的計画で進めれば過大な経費負担を軽減できる。今後も継続すべきである。</p>	<p>○ビンカンボックスの20数年の歴史は、一定の成果があったものと認識していますが、今回の変更はごみ収集体制全体を見直したものであり、財政面や収集効率を加味し、市としてボックスの廃止を総合的に判断したものです。</p>
<p>○ごみの収集時間が午後にかかることが多く、時間がまちまちである。収集を計画的に行うためとのことだが、生ごみ分</p>	<p>○ステーションに出されたごみは速やかに回収すべきものと認識しており、生ごみも同様です。しかし、限られた車両や</p>

別開始後も収集時間が午後のままなので
あれば反対である。

人員の中ではどうしても地域によって収
集時間に差が出ることは避けられず、ご
理解いただきたいと考えます。